

令和5年度 第1回 都田中学校運営協議会 会議録（要点記録）

- 1 開催日時 令和5年5月19日（金） 15時00分から16時20分まで
- 2 開催場所 都田中学校 被服室
- 3 出席委員 佐藤 元久、下原 直美、下村 優子、神間 郁子、吉田 恵子、
長谷川 卓人
- 4 欠席委員 小林 宗吉、野末 陽平
- 5 オブザーバー 谷野 弘勝（協働センター所長）
- 6 学 校 服部 裕一（校長）、神村 由貴子（教頭）、鈴木 貞良（教務）、
内山 朋行（教諭）、渡邊 宏枝（教諭）、尾田 由利恵（教諭）、
金原 幸子（教諭）、仁尾 且樹（教諭）、佐藤 奈帆（CS ディレクター）
- 7 傍聴者 なし
- 8 会議録作成者 CS ディレクター 佐藤 奈帆
- 9 会長の選出及び副会長の指名

司会から、会長の選出について意見を求めたところ、佐藤委員から小林委員を会長に推挙する旨の発言があり、全員異議なくこれを承認した。また、その後、佐藤委員から、副会長に立候補する旨の報告があった。

10 議長の選出

司会から、議長の選出について委員に意見を求めたところ、下村委員が、本日の議長を務めることを申し出、全員異議なくこれを承認した。

11 協議事項

- （1）令和5年度都田中学校学校運営基本方針の確認
- （2）令和5年度都田中学校各学年の目標及び現状等
- （3）夢育やらまいか事業に対する意見書

12 会議記録

司会の下村委員から、委員総数8人のうち6人の出席があり、過半数に達しているため、会議が成立している旨の報告があった。

（1）令和5年度都田中学校運営基本方針の確認

議長の指示により、校長から、別紙資料に基づき学校運営基本方針について説明があった。

（2）令和5年度都田中学校各学年の目標及び現状等

議長の指示により、学校から、別紙資料に基づき都田中学校各学年の目標及び現状について説明があった。その後、各学年主任から各学年の様子について報告があった。

・3年生

進路に向かってお互いに励まし合って頑張っている。先日の修学旅行は、普段欠席しがちな生徒のうち何人かが出席出来て良かった。

これから、部活の夏の大会やコンクールが始まる。サッカー部や音楽部が良い成績を収めているので、夏の大会に向けて頑張ることを期待している。

まだ進路や目標が定まらない生徒がいる。色々な情報を与えて進路を早めに定めていきたい。(学校)

・2年生

優しく明るい子が多く、授業態度は落ち着きがある。一方で、控えめで自信のない生徒が多く、集団だと流されやすい傾向にある。自信を持って頑張るためにも、一人ひとりが輝けるよう学級活動や学校行事でそれぞれに役割を与えるようにしている。

総合の時間では、6月にマナー講座、7月に未来授業が行われる。2学期には職場体験を行う予定。下村さんに依頼し、お世話になっている。(学校)

・1年生

明るい挨拶が出来、大きな声の生徒が多い学年。登下校での交通事故が多いことが心配。交通教室を行っても事故が多いので、特に雨の日の指導を徹底したい。

先日、りんご交流として市教委の担当指導主事に話をしてもらい、フルーツパークでりんごの摘果作業も体験した。10月には収穫体験を行う予定。

初めての期末テストが6月に控えており、学活の時間を利用して勉強の仕方、テストに対しての向かい方を指導していく。(学校)

・5組

1年生4名でスタートしている。学校生活に慣れつつ、周りからの協力も得て活動している。授業については、音や刺激に敏感なため、配慮をしながら進めている。

昨年の生徒も充実した3年間を送り、自分の特性を生かした進路選択が出来た。新1年生も充実した3年間にしていけるよう支援したい。(学校)

・生徒指導

昨年度議題に挙げた野球部の件だが、今年度は5名の生徒が入部し、存続が決定した。

今年度より、多様化する個性の尊重ということで制服にブレザーを導入し、スラックスを選択している女子生徒もいる。校則を見直し、靴下の色を、白以外に黒と紺を増やした。

アフターコロナにおいては充実した学校生活を送っており、授業は成立している。

課題としては、自転車事故が多いこと。

不登校傾向の生徒がいる。入学式は全員出席したが、その後休みがちになっている生徒がいる。いじめに関しては積極的に認知しており、特に未然防止に力を入れ、組織的に対応している。今年度は冷やかしのからかいの案件が起きている。昨年度はネットへの書き込みもあった。現在、月に一回程度いじめに対するアンケートを取っている。また、2学期以降には浜松市教育委員会からいじめに関するアンケートが配布されるので有効に活用したい。

下校途中での立ち話や、公園での遊びについての連絡が学校に届く。また、校舎内外にお菓子のごみが落ちていることもあって、生徒ではない可能性もあるが注意していきたい。(学校)

委員からは、以下の発言があった。

・公園での遊びとはどういうものか。(神間委員)

・道路でスケートボードに乗ったり、小さい子の遊具で遊んだりしているという内容。(学校)

・部活動がなく、子ども達はエネルギーを発散する場がない。子ども達が集まって下校中に立ち話するのも大事なと思うが、学校に連絡がいつってしまうのは大変だなと感じている。温かい目で見守りたい。(神間委員)

・自分もよく公園で生徒を見かける。声掛けして見守るようにしたい。(長谷川委員)

- ・自治会で自転車講座を開講している。昨年度に事故があった場所は危険な箇所だと認識している。一番減らすべき事故は坂の事故。どこで事故が起こったか統計を取る必要がある。(佐藤委員)
- ・不登校の原因はいじめか。(下原委員)
- ・今のところ、関係性はない。(学校)
- ・子供と関わっていると、様子が変わることがある。心に秘めているものもあるので、子どもの話を聞いてあげるようにしている。(吉田委員)
- ・学校職員や保護者だけでなく、第三者の力添えが必要な場合がある。(学校)
- ・ネットへの書き込みについて、学校で何か対策はしているのか。(神間委員)
- ・教員の提案に加えて講師の方に来ていただき、講座を行っている。(学校)
- ・言葉には重みがあると思っているので、引き続き指導をお願いしたい。(神間委員)
- ・事故が多いことについて、公立中学としてスクールバス導入は可能か。不審者も多いので、子ども達を守るために、従来通りでなく新たな発想をしてみてもどうか。(下原委員)
- ・外国では誘拐が社会問題なためスクールバスが実現しているが、日本は現状厳しい。保護者の送迎を許可してもらうのが精一杯。例えば協働センターで導入するのはどうか。(神間委員)
- ・費用面の問題が大きく、難しい。(オブザーバー 谷野)
- ・自転車をやめて徒歩にするのはどうか。(神間委員)
- ・遠鉄バスの本数を増やすとか。(下原委員)
- ・放課後に部活動や塾もない子の居場所確保のため、協働センターやホールの空き部屋を放課後の勉強ルームとして開放することが出来ないか検討している。(神間委員)
- ・実際に、夏休み期間中に協働センターを自習室として開放している。(オブザーバー 谷野)
- ・皆様のご協力をお願いしたい。(下村委員)

(3) 夢育やらまいか事業に対する意見書

市より、CS の予算をいただいている。地域の方に講師に来ていただき、主に学習に関する支援への謝礼として使用していく予定。(学校)

その他連絡事項

学校より、次回会議は、令和 5 年 11 月 14 日（火）14：00 から都田中学校被服室で開催する旨の報告があった。